

2013年2月8日

岡山県知事

伊原木 隆太 様

日本共産党岡山県委員会

委員長 石井ひとみ

日本共産党岡山県議会議員団

団長 森脇 久紀

日本共産党倉敷市議会議員団

団長 末田 正彦

## 倉敷駅付近連続立体交差事業の中止を求める申し入れ

県民福祉の向上に向けた各種施策にご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

さて、様々な角度から議論されている倉敷駅付近連続立体交差事業ですが、これまで日本共産党は機会あるたびに事業の中止を求めてきました。先般、県当局が費用対効果の算出結果を発表されたことを受け、下記の理由から、あらためて知事が事業の中止を決断するよう申し入れるものです。

### 記

1. 連続立体交差事業の前提である区画整理事業に対し、住民合意が得られておらず、「第3～5地区は高架終了後」と言っているように、未だ事業の見通しが立っていないこと。
2. 全事業の完了まで今後さらに数十年を要すること。  
これまでも連続立体交差事業があるために「街づくり」の取り組みができず駅南の商業施設がさびれてしまっている。さらに数十年にもわたって「停滞」「衰退」が続くことは、倉敷地域の経済に大きな損失をもたらす。
3. 県当局の費用対効果の算定結果において、5年前の算定結果と比べて効果（B/C）は半減、「1」を割り込むことが明らかになったこと。
4. 事業費が莫大な規模になり、他の事業執行にも大きな影響を及ぼすこと。

なお、渋滞解消が求められている寿町踏切については、過去に計画があり、費用も工期も少なくすむ「地下道方式」を再検討するよう求めます。

以上